

# 地域の力を取り込んだ放課後づくり

放課後の時間を生きがいにもしながら、地域の子どもたちと触れ合う機会にしませんか？



1コマ目

5月22日(金) 14:00~16:30

## 知って楽しい！生涯学習へのとびら～子どもに伝えたいワークショップ～紹介

市民先生として、様々なスキルを身に付けるチャンス！

子どもたちの育ちのために私たちに「できること」、「伝えたいこと」、「体験してほしいこと」をおとなの経験と知恵で授けてあげたい！そんな思いで地域みんなで作り上げた『対「ひと」の「ものづくりワークショップ」』を紹介します。

竹原美幸(五戸町) 弘前市生まれ、54歳。弘前大学教育学部卒。教育～行政～医療～福祉の仕事を経験した後、H5年よりハンドクラフトのあっとほ～む(「集う・創る・つながる」をモットーとする手仕事集団)を設立、代表を務める。



対象

- ・小学生と時間を共有して寄り添ってくださる方
- ・放課後づくりに関心のある方
- ・学校関係者、PTA、学生

3コマ目

5月23日(土) 09:30~12:00

## 私もできる！ ホッケーガイも来る!! いい企画アイデア発想のコツ

子どもと一緒に楽しく学べるプログラムの企画。

何かしたい……何ができる？……そんなモヤッとした思いをカタチにするヒントは、楽しい仲間のおしゃべりの中にあるものです。到底不可能だと思われることも否定せず話を盛り上げる。そんなワクワク感を、仲間と共有するところから始めてみましょう。

岩本ヤヨエ(三沢市) 1963年、三沢市生まれ。20才で結婚し4人の子育をする専業主婦となる。32才で小学校のPTA事務として就職し、自分中心であることに自覚する。知的障がいをもつ長女を育てる経験から家庭教育支援の必要性を感じ学び始め、その学びが「家庭教育支援→まちづくり→男女共同参画」へとつながった。男女共同参画の活動をするWOMEN'S VISIONが行ったまちづくりワークショップから三沢市を守るヒーローの話が発生し、2014年6月に「海鮮野郎ホッケーガイ」が誕生。新たにホッケーガイプロジェクトを立ち上げヒーローショーなども手掛けるようになる。その他、若者のキャリア教育として高校生パフォーマンスライブを5年、また、イクメン・カジダン育成事業を2年行っている。



2コマ目

5月22日(金) 18:00~20:30

## 学童保育を通して考える～子どもの時間

放課後事情を一緒に再確認！事例から寄り添い方を学ぶ。

学童は地域。「あそび」は生きる土台。ゆるやかな地域という居場所にいる子どもたちの楽しいを共感し、かかわることを力にし、自分らしく生きていくために、地域の私たち大人の役割、寄り添いを「ハビたの」の実践からみんなで考えます。

中沢洋子(十和田市) (特)十和田NPO子どもセンター・ハビたの代表理事。十和田市の指定管理を受け、北園小学校学童保育「なかよし会」を運営。平成27年4月1日から子育て支援制度に伴い定員120名になる。10年目。学童保育と十和田市特産の野菜がおいしいコミュニティカフェ「ハビたのカフェ」運営。



場所：弘前市民参画センター 3階 グループ活動室 1・2

(弘前市元寺町1番地13 / 0172-31-2500)

※駐車場は、会場の向かいにある市民中央広場内「催しの広場」をご利用下さい。

参加申込・お問い合わせ：ひろさきアフタースクール事務局 担当 境

TEL：090-1935-5527 FAX：0172-35-8948

メール：anyotherapy@yahoo.co.jp

この事業は、平成27年度弘前市の市民参加型まちづくり1%システムを活用しております。